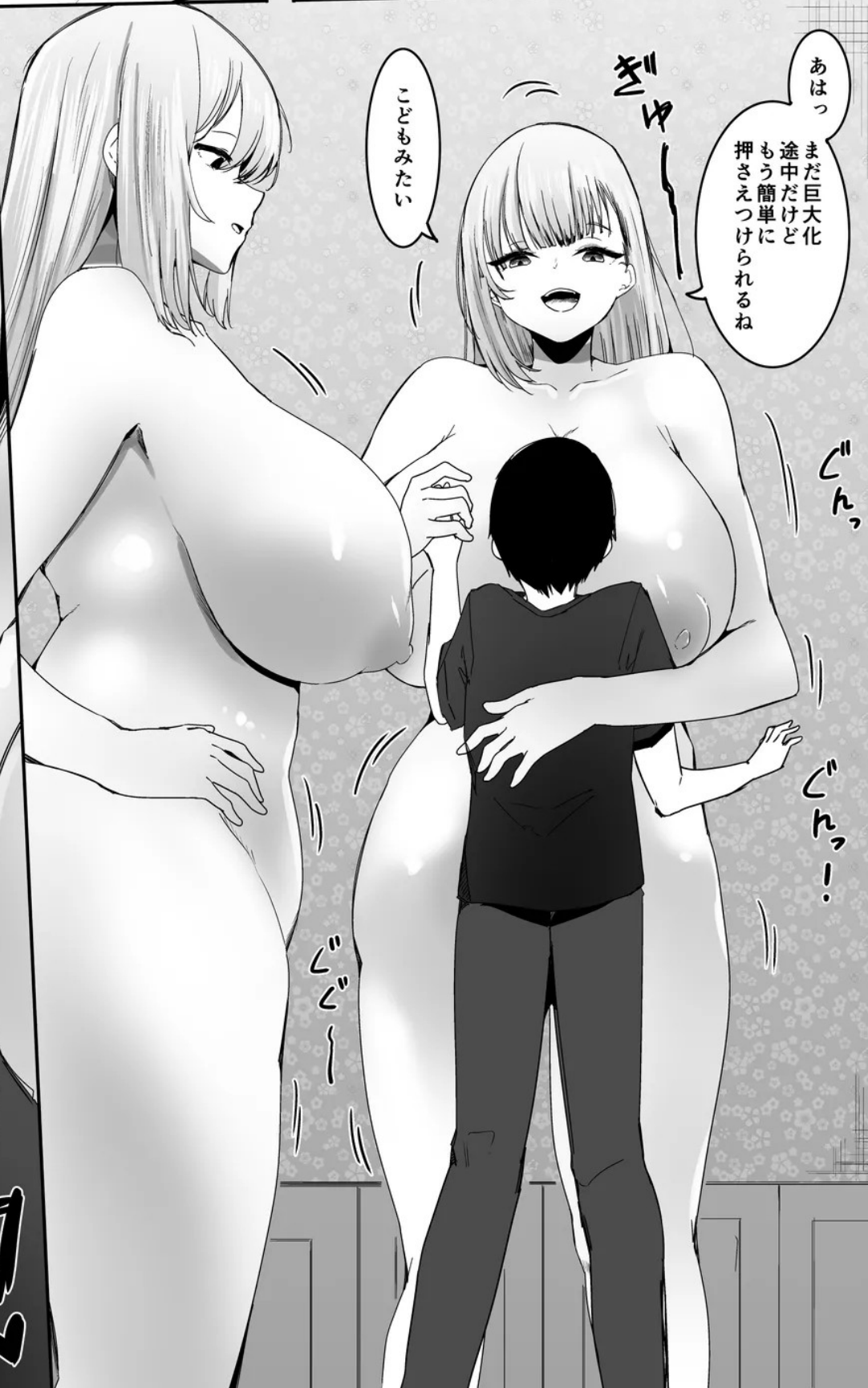
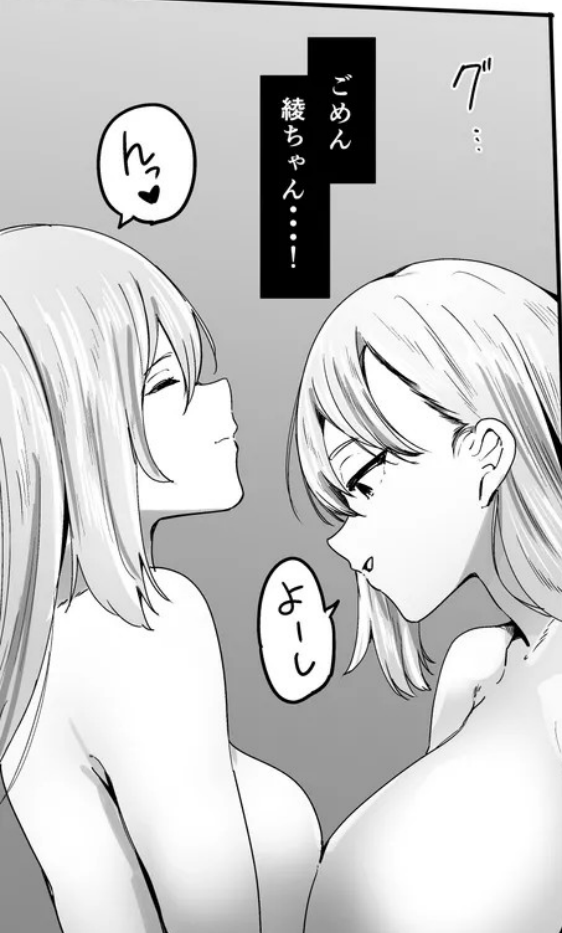










巨大化完了

ズーッ!

おー
まこと
小さくなったねー

……って
このやりとり
巨大化あるあるすぎて
飽きたよね

みぢっ♡

むわっ!♡

そう?
決め台詞みたいで
私は好き

まことが小さくなった
んじゃなくて
私達が大きくなったんだよ

じゃまことの服
脱がしてこっか

ついでに
私たちは
軽く服着よ

んむ!!

ぎゅわー!!





おー
カンタンに
入る♡

にゅぽん

ビクン!

ビク
ビク!



ちっちゃいの
ちゃんと
硬いからなんか
変な感じ

あっ!
一瞬で
全部っ
入って...



全然奥まで
入ってこない
まこと
ちっちゃすぎ

むち♡

これは私たち
満足させるのに
何回いくことになるね

みち♡
みち♡
まこと
がんばれー



はあ
これこれ♡ 私たちは
全然チカラ入れてないし
余裕なのに

まことは必死なのが
まさに「使う」って感じて
エロいんだよね

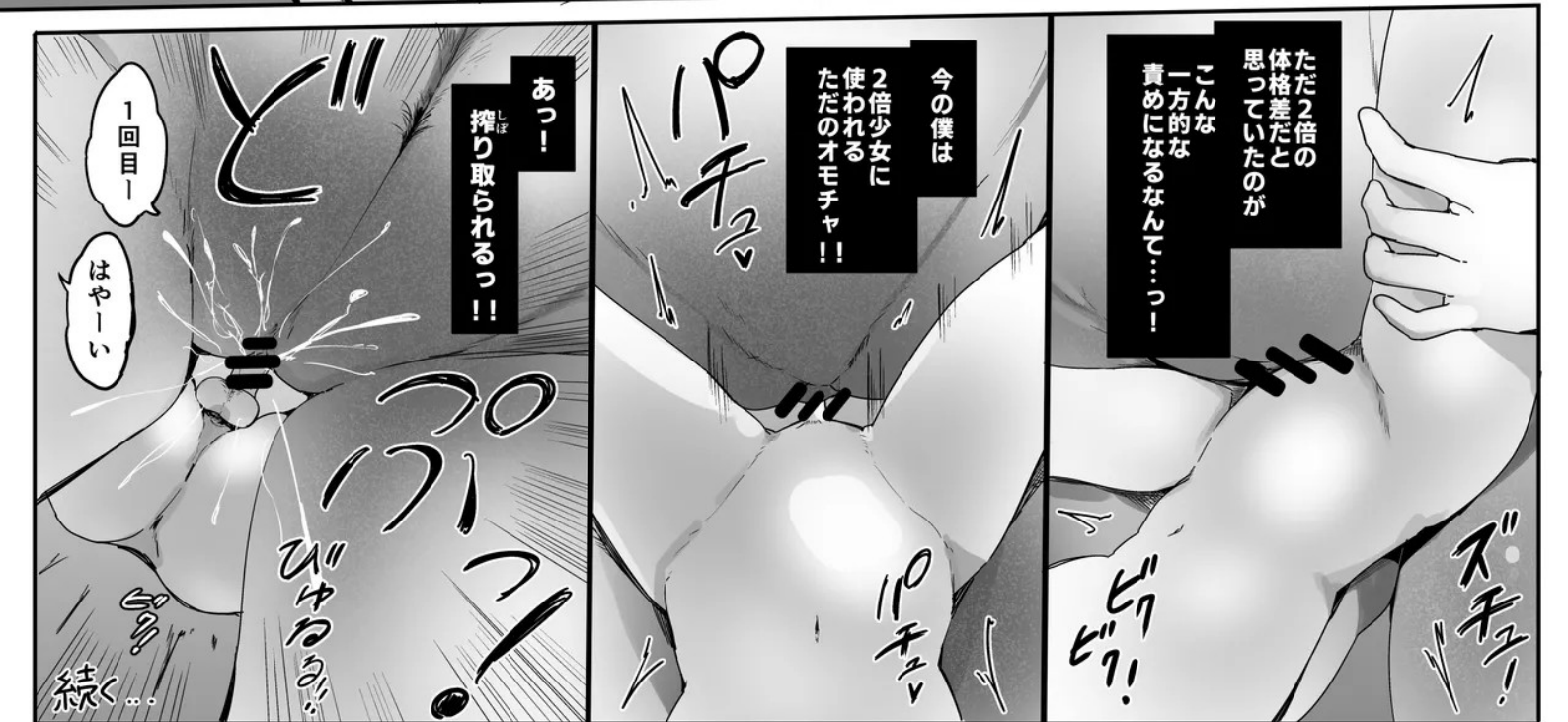


動かすよ

あっ
まって!!

ビクッ!







え!?

!!?



ムリだ…

こんなに
重くて巨大な
相手を

気持ちよく
出来るわけない…!



お

どこまで
大きくなるん
だろーねー?

ね?

まこと?

そんなん?!

まだ大きく
なるなんて!

アタシらの
カラダ

まだ大きくなってる
っぽいじゃん

そういえば
2倍で巨大化
終わるなんて
書いて無かったもんね

グー!



ほんと私達大きくなってくんだからさっきより頑張らないとだよ？

ほらほら

射精すると本人でも分かるくらい一気に縮むっぽいね



なるんて

私達が更に巨大化してるなんてウソ♡



やっぱアタシらが使ってあげないと

次私挿入したい



あはっ♡
それで動いてるの？

かわいい♡

もうまこと一人じゃ
まともに性行為
できないね

しゅる!!!



本当はあんずのアソコに塗った縮小薬のせいでマコトが小さくなってるのに気付いてないんだ

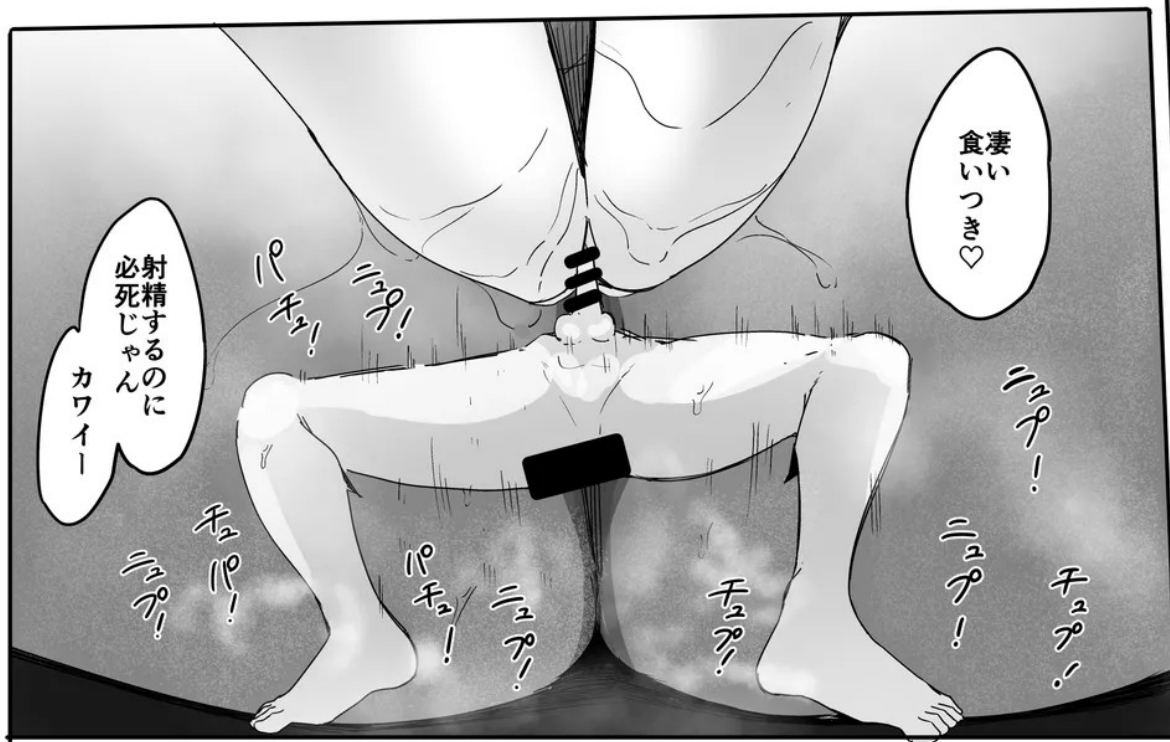
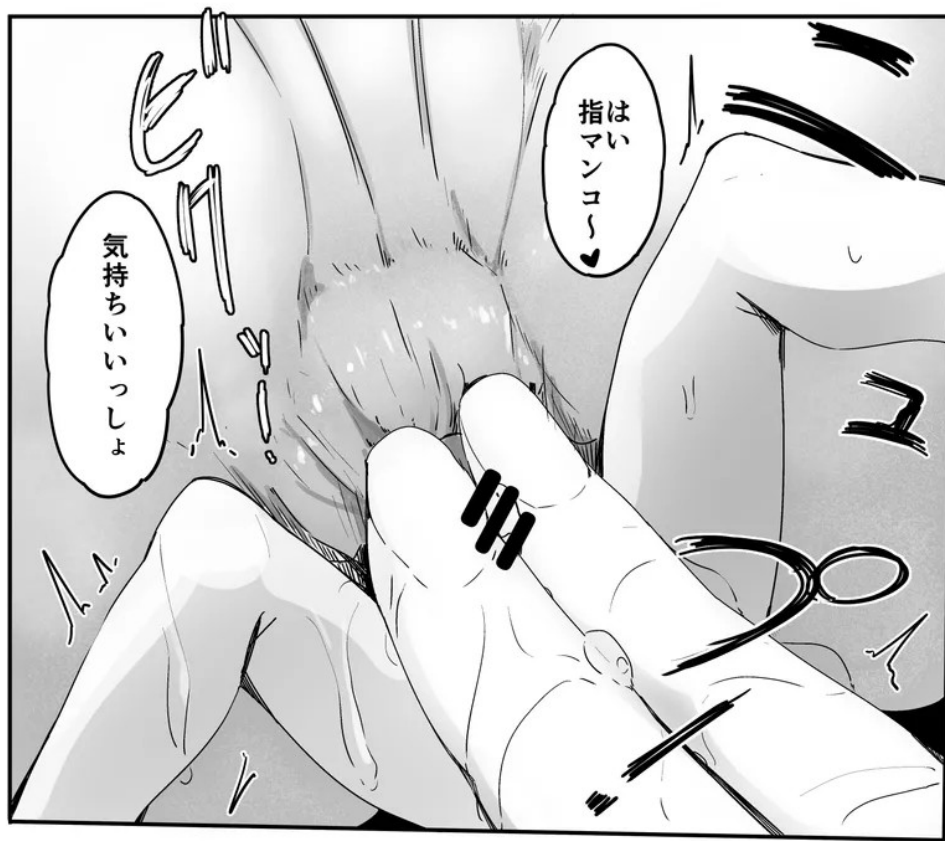
面白いからこのまま黙っておこ













イきたい！
イきたい！

はあっ！
はっ！

パチュン！



またっ
今度は
たっぷりお腹から
出そう



あっ
射精る！



パチュン！
ニョプッ

熱気と圧力と匂いで
涙が止まらないっ！

酸素も薄いつら
意識も薄れてから

パチュン!!

とにかく早く

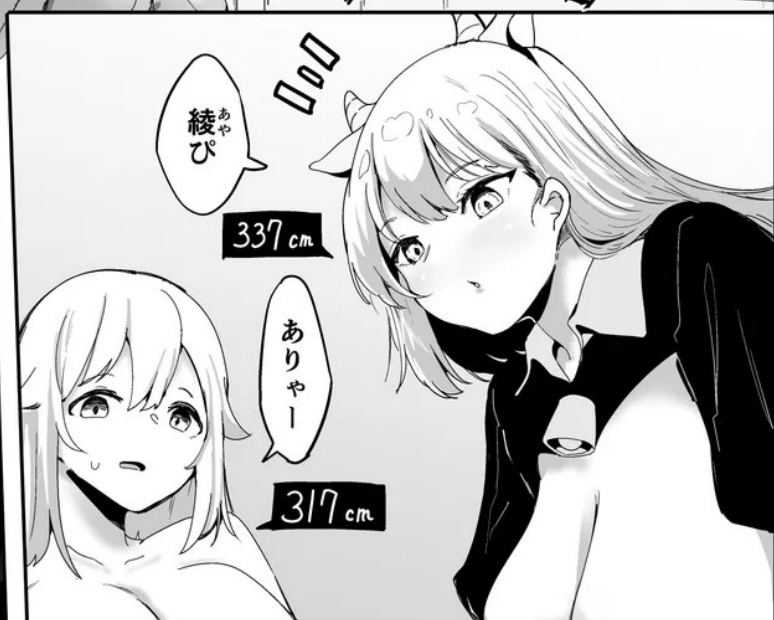
イきたい！
イきたい！



!!?

パチュン





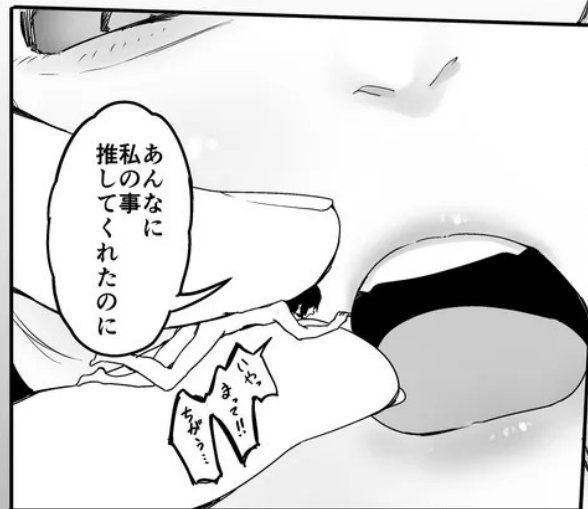
今踏み潰しそうに
なっちゃた足の元が
まことだよ

え
!?

ウソ!
!?

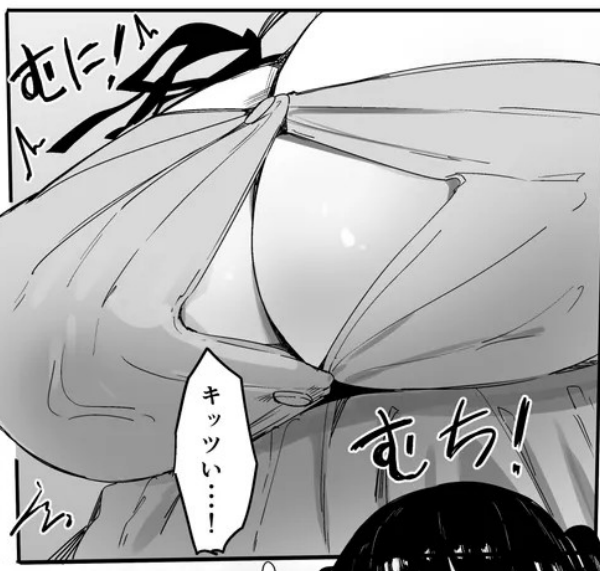
あぶなっ!







うあつ!



キツツイ……!

むち!



うあつ

ああつ!

むち! ヽ



ウソ
まだまだ

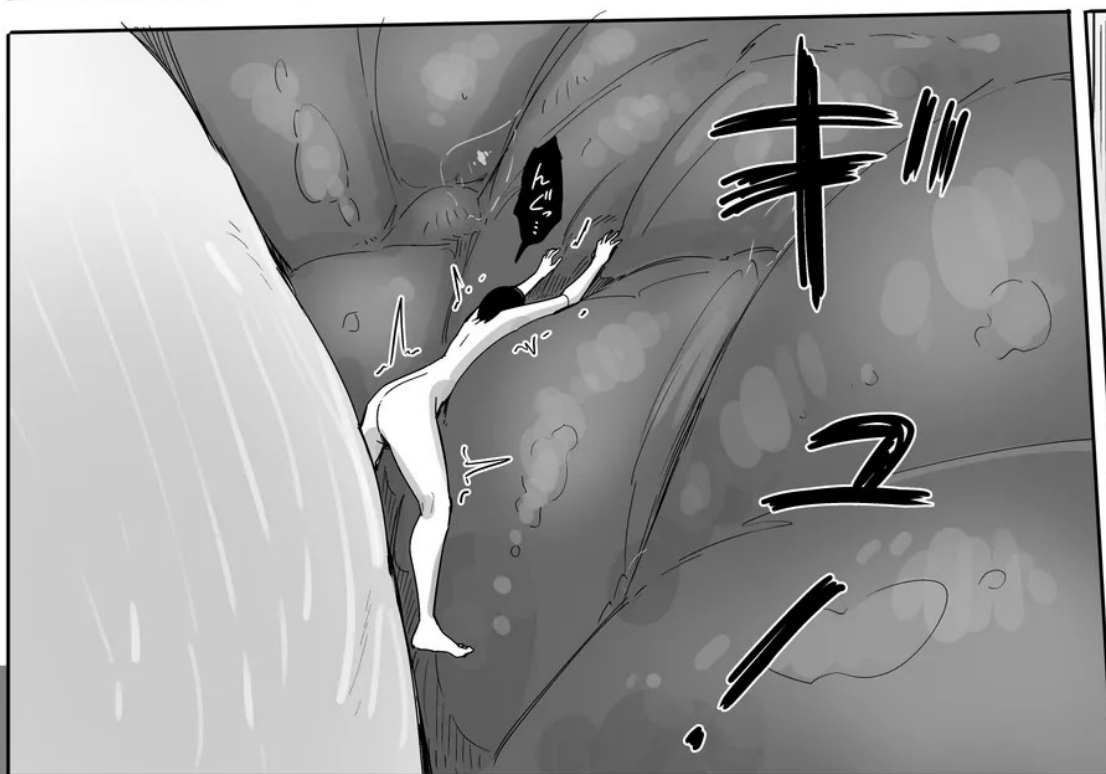
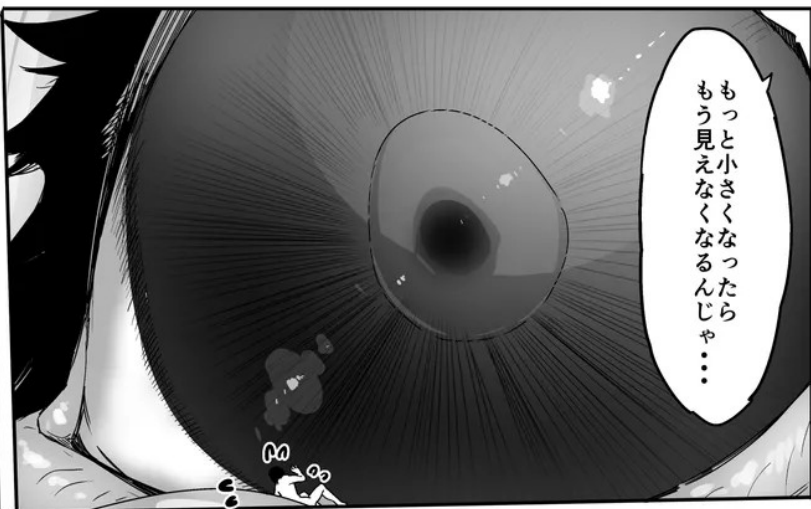
大きくなるの……?



うわ
でっか

2階に
突き抜けちゃ







グクン

まことにとってそこは私でも
わかんないくらい
おっきなおっきな
おっぱいの上の世界に
なっちゃったんだ

私の無意識な呼吸や鼓動でも
耳を塞がなくてちゃんと聞ける程
なったんだよね

ドグン

あーん！
かわいいすぎ♡

一生閉じ込めたい♡

ねえ
聞こえてる？

は
微生物になっちゃった
まことに女神の私から
特別に命令してあげる

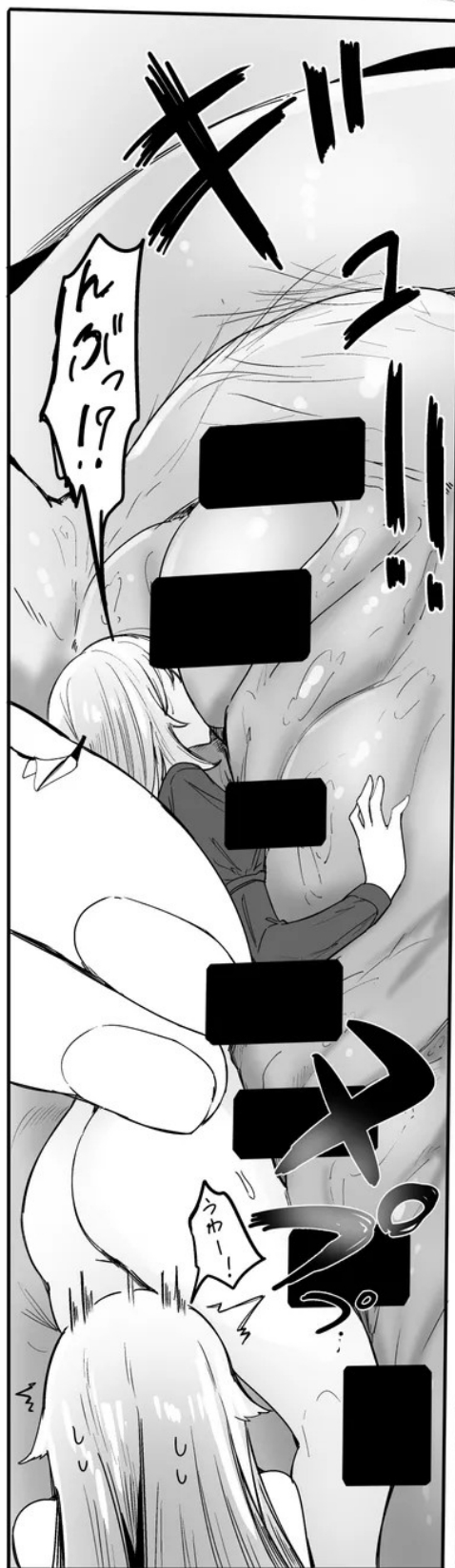
そろそろ
帰ろっか

うん



射精^イけ

あと
100回





後日

おかえり
なさいませませ!

おチビちゃん!



色んなことが
起こるけど

生粋の
サイズフェチの僕は
このお店が好きです

おしまい

